

桜のきせき



令和3年10月8日

No.21

文責：校長 稲葉裕美

秋晴れの青空が続いています。新型コロナウイルス感染症対応のレベルが下がり、子どもたちの活動制限が緩和されたことで、校舎内や運動場から明るいうち子どもたちの声が響くようになりました。

今日は前期の終業式です。半年間の学びを振り返り、後期の目標を立てる区切りの日としたいと思います。秋休みは、10/9(土)・10(日)・11(月)の3日間です。10/12(火)後期始業式は、気持ちを新たに登校させていただきますようお願いいたします。

本日の終業式で子どもたちに次のことを話しました。

春日小学校554名のみなさん、おはようございます。

今日で前期が終わります。4月にそれぞれの学年がスタートし、半年がたちました。今から、「一人一人の振り返り」と、「学級の振り返り」について話します。

1 一人一人の振り返り

4月の始業式には、「こんな〇年生になりたい」となりたい自分を思い浮かべ、その姿に近づくための努力をしましょうと話しました。さあ、自分の半年を振り返ってください。目標に半分くらいは近づいているでしょうか。

例えば、「4月に、心優しい6年生になりたい」と思っていた。縦割り班でも登校班でもクラスでもそうなれているな。」と思った人がいれば、後期に向けてステッ

プアップした新たな目標を立てましょう。

「挨拶と返事をしっかりやろうとしたけれど足りなかったな、まだ半分もできていないな」と思った人がいれば、もう一度、新たな気持ちで取り組み始めましょう。

前期に、どんなことができるようになったか、後期に何を頑張りたいかを、それぞれの担任の先生や教科担当の先生が、願いを込めて書いたものが通知表「あゆみ」です。受け取ったらよく見て、なりたい自分を思い浮かべ、後期の目標を立てましょう。

2 学級の振り返り

学級目標の振り返りも行いましょう。よい仲間、よい友達がいれば学校は楽しくなります。それぞれの学級には、にぎやかな人もいれば、もの静かな人もいます。よく発言する人や、話すのは得意でない人など、自分とは違うところのあるいろんな人がいます。自分とは違う人と、どうやったらうまく過ごせるか、分かり合えたり、協力したりできるのかを考えていくのが学級です。学級の仲間を大事にしていますか。学級の仲間として大事にされていますか。教室の中に、自分の味方になってくれる人はいますか。また、困っている人の味方になって手助けしていますか。お互いを大切にし合える学級になっているかを振り返りましょう。

おわりに

春日小がめざす「考える子ども」「すなおな子ども」「がんばる子ども」になるためのキーワードを始業式で話していました。「気づき」「考え」「行動する」という

言葉です。

今の自分の姿に「気づき」、どうすればよいか「考え」、これまでしていなかった「よい行動をする」ことができたでしょうか。

4 月には挨拶しても目をそらして返事をしなかった人が、少しずつ声を出すようになり、今ではしっかり元気な声で挨拶するようになりました。この人は、行動を変えたのだと思います。

廊下ですれ違う時に自分から挨拶をする人が増えました。よいことです。

前期の間に、「～です」「～していいですか」と丁寧な言葉遣いができるようになった人もいます。

トイレのスリッパを忘れずに並べる人も増えました。

皆さんが「気づき」「考え」「行動する」ことで、気持ちのよい春日小学校になってきました。前期の半年で、春日小のよいところが増えてきたことを嬉しく思っています。そこには、一人一人の成長があるからです。

学んだこと、身に付けたよい習慣は、あなた自身の力となり、大人になったときにもあなたを支えてくれます。これからも、自分をよりよく伸ばしていきましょう。

後期に向け、子どもたちのやる気が高まるよう、ご家庭でも励ましの言葉かけをお願いいたします。

「輝く春日っ子」

※敬称略

○第二十四回佐世保球友会杯ジュニア夏季大会 優勝
春日・鹿子前・相浦合同チーム

○第 20 回長崎県小学生ソフトテニス夏季選手権大会 男子の部 優勝
6 年児童

※学校便りは学校ホームページにも掲載しております。児童名と写真は個人の情報となるため、ホームページ掲載分の学校便りには載せませんので、御了承ください。

※学校ホームページ「春日っ子の 1 日」に日々の活動を紹介しています。QR コードからアクセスして、ご覧ください。

